



4 豊かな生態系と文明

北緯 30 度に位置する湘西地域は、亜熱帯モンスーン気候に属し、夏に雨季があり、四季がはっきりしています。また、湘西地域は中国に 17 箇所ある世界の生物多様性重要地域のうちのひとつであり、「中国中部の生物遺伝資源ジーンバンク」と呼ばれています。ジオパークのうち、67% が森林に覆われており、メタセコイア、古代イチョウ、ウトン、イチョウ、イチイなど、生きた化石と呼ばれる古代植物が生育しています。さらに、オオサンショウウオ、センザンコウ、ベニジュケイ、マカクなどの絶滅危惧種や中国の固有種を含む数十種類の動物も森の中で生息しています。

この独特な地質環境・生態環境で、人間も生活を営んできました。湘西ジオパークは地質景観と民族文化との一体化のモデルとも言える場所です。この台地では、1 万年前から人類が生活していたことが確認されています。当時の部族は生活の場を求めて、西水・武水へと遡りましたが、

険しい地形の隔たりにより、やがてトゥチャ族とミャオ族に分かれ、湘西に定住しました。何千年もの間、湘西の各民族はこの土地で和やかに暮らし、独特の地形や豊かな生態資源を活かし、神秘的な民族文化を継承し、今では貴重な無形文化遺産となりました。主な民族はトゥチャ族とミャオ族ですが、他にもホウエイ族、ヤオ族、トン族、ペー族なども暮らしています。

湘西ジオパークでは、原始的な村や町が多く残されており、トゥチャ族とミャオ族などにより伝承されてきた神話、特有の戯曲音楽や踊り、精巧で美しい衣装、食文化などさまざまな伝統的な民俗があります。また、時代の変化に伴い、湘西人は生活環境の改善に取り組み、農地を開拓し、家を建て、道路や橋を建設してきました。これらの物や文化は、湘西に暮らしている各民族の人々が知恵を使い、手を動かし、自然の恵みを受けて作り出した奇跡だといえます。湘西の奥深い歴史と魅力的な民族文化は、人間の生活と自然との調和の証です。



湘西ジオパークの楽しみ方

広大な湘西ジオパークでは、壮大な自然、魅力的な文化を体験することができます。限られた時間の中での楽しみ方をご紹介します。

◎ おすすめコース

台地・峡谷をはじめとする自然景観を見て、湘西民族の生活と文化を体験することが、観光のポイントです。以下、ジオパークを堪能できる 6 つのおすすめコースをご紹介します。興味やご希望に合わせてお選びください。

1 地球史に興味がある方におすすめ

湘西ジオパークミュージアム—瓢筆氷成角礫岩断面（エディアカラ紀）—カンブリア系苗嶺統古丈階 GSSP—古丈赤色カレンフェルト（オルドビス紀）—洛塔シルル系赤層—洛塔溶岩台地（ペルム紀—三畳紀）—澤家赤色カレンフェルト（白亜紀）

2 カルスト地形に興味がある方におすすめ

洛塔溶岩台地—洛塔カレンフェルト—霊洞シンクホール群—蘭花洞—坐龍峽—古丈赤色カレンフェルト—大峰沖峽谷—呂洞山—金龍大峽谷—徳夯大峽谷—大龍洞滝—尖朵多滝—天星山大峽谷

3 生物の生態に興味がある方におすすめ

洛塔メタセコイア—坐龍峽国家森林公园—峒河国家湿地公园—矮寨国家森林公园

4 トゥチャ族の文化に興味がある方におすすめ

吳著庁遺跡—洗車河古鎮—惹巴拉—亨章村—老司岩—張家坡—坐龍峽—芙蓉鎮

5 ミャオ族の文化に興味がある方におすすめ

齊心苗寨—吉斗苗寨—徳夯苗寨—重午苗寨—坪年苗寨—呂洞苗寨—金龍苗寨—十八洞苗寨

6 建築・交通文化に興味がある方におすすめ

洗車河涼亭橋—惹巴拉風雨橋—惹巴拉冲天楼—芙蓉鎮吊脚楼—矮寨抗日戦争公路—矮寨大橋—十八湾断崖公路—齊心村石頭寨

◎ おすすめ土産とグルメ

湘西ジオパークは広大で独特な地質環境であるため、作物の栽培に最適な環境です。加えて、住民たちの知恵により、多彩なお土産品や民芸品が作り出されてきました。旅行の記念におすすめです。



郷土土産

かつて清王族への貢物だった古丈毛尖（緑茶）、アミノ酸・ポリフェノール性化合物含量が高い保靖黄金茶、苞穀焼の伝統的な作り方で作られた洞蔵酒、セレンを多く含むキウイ、国内トップクラスの品質を誇る龍山百合根、爽やかな甘さを味わえるポンカンなど。



民芸品

ミャオ族の女性が作る刺繍を由来とするミャオ画、鮮やかで独特なデザインのミャオ族刺繍、トゥチャ族のダマスク織であるシーランカーブ、藍染めの布、長い歴史がある細やかな竹編みなど。



ご当地グルメ

湘西のグルメのキーワードは「辛い」と「臘（ラー）」です。トゥチャ族、ミャオ族、及び漢民族の風味を融合した郷土料理がその代表です。トウモロコシ漬、大根漬、魚漬など、酸味と辛さで食欲をそそる漬物をはじめ、臘肉、臘腸、臘豆腐、臘魚、臘豚足、臘大豆粕などの塩漬食品、旨味たっぷりのオオシロアリタケ、セリ、ワラビ、筍などの野菜に加え、鴨血のツアンパと家鴨の煮込み、鳳凰社飯、湘西ツアンパ、米豆腐、トゥチャ毛豆腐などの料理があり、季節ごとに多彩な料理を楽しむことができます。ジオパークではさまざまな飲食店があり、お店でゆっくり食べるのもよいですが、漬物などは持ち帰りも可能なので、ぜひお試しを！

◎ アクセス・宿泊

湘西ジオパークは湘西州の州府である吉首市に隣接しており、ジオパークに行く際は吉首を拠点とするのが一般的です。州外からの移動手段としては、飛行機・列車・車があります。ジオパークの最寄りの空港となる貴州銅仁空港には、北京・上海・広州路線が発着しています。空港から吉首市までは車で 1 時間以上がかかります。また、張家界荷花国際空港、芷江空港、長沙黄花国際空港から吉首市までの距離は 382km あり、そこから高速道路を使ってアクセスします。

現在 38 路線の列車が吉首市を発着しており、アクセスが大変便利です。また、現在計画中の張吉懷新幹線が開業したら、「張家界—吉首—懷化」間の移動時間が大幅に短縮されます。

吉首市の西口バスターミナル（0943-8229161）では、長沙、銅仁、成都、衡陽、武漢、重慶、懷化行き的高速バスがあります。さらに、国道 209 号線、包茂高速道路、張花高速道路が吉首市を経由しており、車でのアクセスも大変便利です。

ジオパークでは、村営バス、スポット間のシャトルバス、クルーズ、レンタル自転車などがあり、園内の移動も大変便利です。



ようこそ湘西ジオパークへ！



湘西州地質公園管理所

住所：湖南省湘西州永順県芙蓉鎮

郵便番号：416000

電話番号：+86-0743-8232292

ファックス：+86-0743-8232292

メールアドレス：xxzsjdzgy@163.com

公式サイト：http://dzgy.xx.gov.cn



湘西ジオパーク

—自然と文明の豊かさを体感できる地—



湘西州地質公園管理所



湘西ジオパークは、中国湖南省湘西トゥチャ族ミャオ族自治州にあり（N28° 06′ 49.23″ —29° 17′ 24.26″ , E109° 20′ 13.66″ —110° 04′ 12.55″ ）、面積は 2,710km² です。

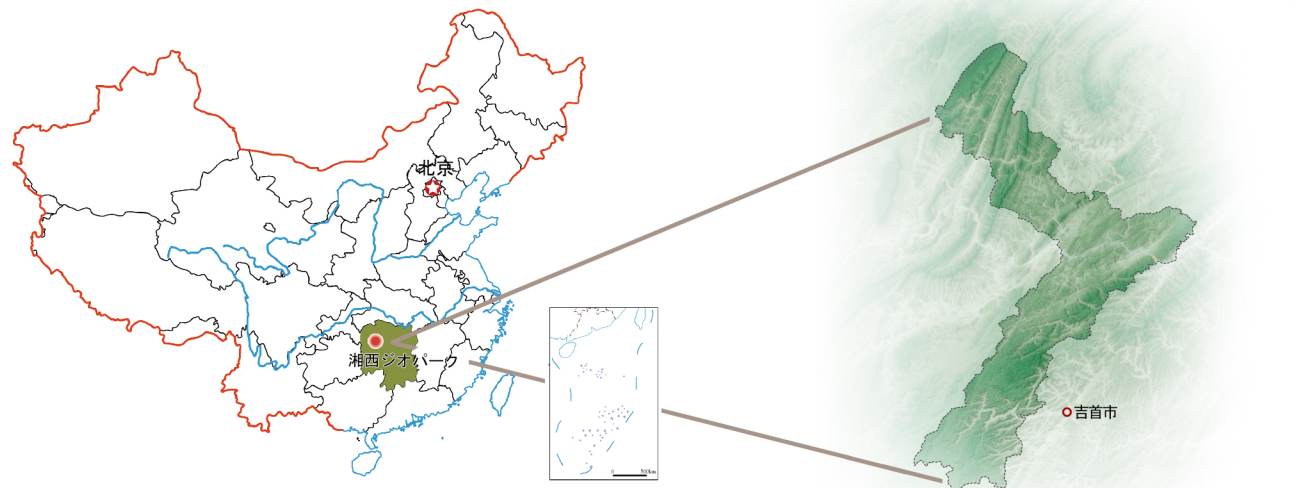
雲貴高原の東端の傾斜地にあるこのジオパークでは、カンブリア系 GSSP（国際標準模式層断面及び地点）に選定された古丈階と排碧階をはじめ、世界最大規模を誇る赤色の炭酸塩岩のカレンフェルト、壮大な開析台地、峡谷群などのジオサイトがあり、さらに、揚子台地の変遷や雲貴高原周辺で起きた開析・破碎・分解の様子を見ることができます。また、典型的な地質事件や氷河時代の気候事件、及び古生物の遺跡など、数多くの地質現象が見られます。そして、少数民族の文化と台地・峡谷などの自然が一体となり、和やかで美しい生活環境が築かれたことにより、武陵山地帯では神秘的で独特な民族生態・文化圏が形成され、世界中からの観光客を魅了しています。

湘西ジオパークの 4 つの見どころ



1 大なカルスト台地と峡谷

雲貴高原の東の傾斜地にある湘西ジオパークは、中国の第 2 級階梯の東端にあり、地質活動が活発で、開析が著しいため、起伏が激しい地形です。さらに、流水による長年の侵食と溶食により、広大な開析台地が形成され、現在のような絶景ともいえるカルスト台地・峡谷が生まれました。ジオパーク内のカルスト台地の面積は 688km² あり、その上に、窪地やドリーネ、カレンフェルトに加え、峡谷や滝、シンクホール、洞窟、岩壁・岩柱など、カルスト地形の景観がほぼ一通り見られます。中国国内随一の景観多様性を誇り、中国南部のカルスト台地の代表として観光客を魅了しています。



カルスト台地は、峡谷と共に形成されます。台地の開析が著しければ、より多くの谷が深く刻まれることとなります。特にジオパークの西北部と南部では、断層や高角度の節理により、網状脈のような峡谷群が形成されました。峡谷の両側には、聳え立つ岩壁や岩柱、そして流れ落ちる滝が見られます。



湘西ジオパークの見どころ その1: 広大なカルスト台地と峡谷

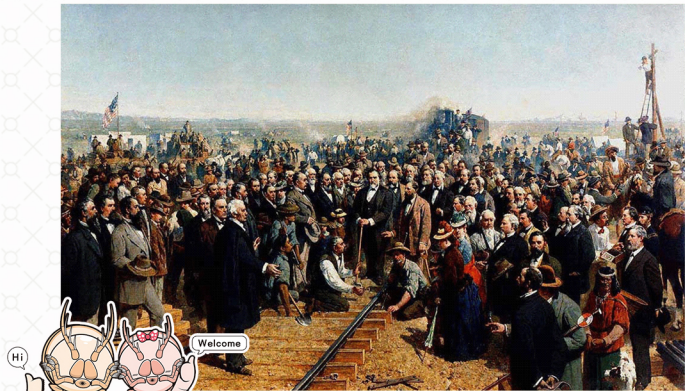


2 世界でも稀に見る赤色のカレンフェルト

赤色のカレンフェルトは主にジオパーク内にある古丈県酉水の兩岸にあります。この景観は、オルドビス系大湾層 (O1d) と牯牛潭層 (O1g) (今から 4.65-4.7 億年前) の赤紫色の中厚層～厚層、及び瘤状の泥灰岩・生物碎屑泥灰岩からなります。岩質・褶曲・断層・節理の影響を受け、地下水と降水による長期的な侵食・溶食に加え、地下の差別溶食と地表の差別風化により、様々な形や組み合わせをしており、主に赤色に色付いた岩柱が形成されました。高さ 3～30m の岩柱が 1,000 本以上あり、山頂や斜面、凹地、谷などで赤色のカレンフェルトとなって聳え立っています。岩柱は溶食により、表面に鮮やかな色が付き、独特で美しい形や組み合わせをしています。この赤色のカレンフェルトは、オルドビス系赤色の炭酸塩地層で形成され、赤色のカレンフェルトとして世界最大規模を誇り、「赤色の炭酸塩岩のカレンフェルトの模式地」として認められています。カレンフェルトの中でも赤色のカレンフェルトはとてもユニークです。

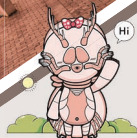


湘西ジオパークの見どころ その2: 世界でも稀に見る赤色のカレンフェルト



3 カンブリア系 GSSP

各地質時代を区切る境界を示す層序断面及び境界の位置として国際的に認められたものを GSSP といいます。アメリカで鉄道路線の完成記念として黄金の犬釘を打ち込むことに倣い、GSSP に定められた場所には「ゴールデン・スパイク」が打ち込まれます。そのため、GSSP は「ゴールデン・スパイク」と呼ばれることがあります。GSSP は地質区分境界の国際認証で、認証の取得は世界トップレベルの地学研究成果を挙げたことの証であり、オリンピックの金メダル獲得やサッカーのワールドカップ優勝に相当します。現在、世界では 72 箇所の GSSP がありますが、そのうち、11 箇所が中国にあり、さらにそのうちの 2 箇所が湘西ジオパークにあります。



湘西ジオパークにある 2 箇所の GSSP は、カンブリア系芙蓉統排碧階の層断面 (Glyptagnostus reticulatus の初産出層準) 及びカンブリア系苗嶺統古丈階の層断面 (Lejopyge laevigata の初産出層準) です。湘西ジオパークは、カンブリア紀では浅海で、浅海と深海の間に古生物が数多く生息しており、今では、堆積により炭酸塩地層ができています。このような特殊な地質環境の中で形成された層断面は、単調な岩相、整った地層、連続した露頭、明確な境界及び豊富な化石があることなどを特徴としています。石灰岩地層では、Chancelloriid と三葉虫、コノドント、腕足動物、及びヒオリテス類と共存し、これらの初産出層準を「国際結節点」と呼びます。前述の二種のアグノスチスも、異なる種類の三葉虫です。湘西ジオパークにおける花垣排碧から古丈羅依溪までのカンブリア系堆積地層は中国におけるカンブリア紀後期の Chancelloriid の産出最上限の層準であり、世界でも稀に見る地層です。排碧階と古丈階は、現在、世界で唯一完全に残っているカンブリア系第 7 階と第 8 階の標準模式層断面となっています。

